

—平成27年度募集説明会のご案内—

JST さきがけ研究領域

「情報科学との協働による革新的な農産物栽培手法を実現するための技術基盤の創出」
(研究総括 二宮正士 東京大学大学院農学生命科学研究科附属 生態調和農学機構 教授)

平成27年6月

国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略研究推進部

平素より、当機構の活動にご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、標記研究領域について本年度より研究開始する研究課題の募集説明会を開催いたします。本研究領域では、食料生産に貢献するという大きな目標に向かって高収量・高品質な農産物栽培に資する技術の基礎を生み出すため、情報科学者と農学・植物科学者が協働して研究に取り組むという異分野連携を推進します。ご関心のある多くの方々のご参加を期待しております。公募の詳細や応募の注意点につきましては、募集ホームページ (<http://www.senryaku.jst.go.jp/teian.html>) を必ずご確認ください。

<領域概要(要旨)>

本研究領域では、気候変動や環境負荷低減に向けた要求等、さまざまな制約の下でも高収量・高品質な農業生産を持続的にを行うことを可能とする先進的な栽培手法の確立を目指します。このため、農学・植物科学と、先端計測やデータ駆動型科学等の情報科学との協働により、さまざまな環境に適応した植物栽培や生産品質に合わせた植物の生育制御を実現するための研究を異分野連携により推進していきます。

具体的には、植物生体機能を非破壊で計測する技術、多様で大規模なデータから最適栽培に資する知識を抽出する技術、植物栽培の地域特異性を凌駕できる汎用生育モデルや不確実性を考慮できる生育モデル、圃場生態系を記述する複雑系モデル、野外での生育を精度よく制御する技術等を対象とします。

研究推進にあたっては、情報科学研究者と農学・植物科学研究者との情報交換・議論・連携を重視します。さきがけ研究者がそれぞれの専門分野の強みを生かしながら連携することで、互いに触発しながらシナジー効果を得る体制を整え、将来の食料問題への解決に挑みます。

<応募者へのメッセージ>

現在、農学・植物科学と情報科学の融合分野は極めて人材に限られています。本研究領域には、新たな分野を創出するという気概を持って参加していただきたいと思います。農学・植物科学研究者は情報科学を、情報科学研究者は農学・植物科学を研究期間内に自ら積極的に学び、異分野の知見を取り入れつつご自身の研究を進化させてください。それぞれの分野は膨大で、その一部でさえ学ぶにはそれなりの時間を要します。まずは、異分野の研究者との交流を通してその端緒をつかんでもらえればと思います。本研究領域での研究活動を通して、両分野の橋渡しを行い、融合分野を牽引する人材となることを目指し、さきがけ研究を実施する過程でお互いに切磋琢磨して成長していくことを強く望みます。

以上

JST-さがけ研究領域 平成 27 年度募集説明会

研究領域「情報科学との協働による革新的な農産物栽培手法を実現するための技術基盤の創出」
 (研究総括 二宮正士 東京大学大学院農学生命科学研究科附属 生態調和農学機構 教授)

科学技術振興機構 (JST) は、下記の要領で募集説明会を開催します。
 ご関心のある多くの方々のご参加をお待ちしております。

-記-

■東京開催

日時：平成 27 年 7 月 7 日 (火) 14:00-16:00 (開場 13:30)

場所：早稲田大学日本橋キャンパス ホール

(〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目三井ビルディング 5 階)

■京都開催

日時：平成 27 年 7 月 13 日 (月) 10:00-12:00 (開場 9:30)

場所：TKP ガーデンシティ京都 7 階会議室「橋」

(〒600-8216 京都市下京区烏丸通七条下る東塩小路町 721-1 京都タワーホテル 7 階)

※京都駅から近い「タワー入口」ではなく「京都タワーホテル入口」からお入り頂き、
 直通エレベーターから会場にお越しください。

■会場案内図

【東京会場】



【京都会場】



※**事前申込みは不要です**。当日、お名刺をご準備のうえ会場まで直接お越しください。
 ※東京開催・京都開催とも、本研究領域の他、CREST 研究領域「環境変動に対する植物の頑健性の解明と応用に向けた基盤技術の創出」・さがけ研究領域「フィールドにおける植物の生命現象の制御に向けた次世代基盤技術の創出」と合同で説明会を開催します。いずれの研究領域についても研究総括による領域運営・募集方針に関する説明がございます。**なお、説明会への参加は応募への必須条件ではありません。東京開催の募集説明会は録画のうえ、募集ホームページで公開します。**

＜募集全体に関するお問い合わせ先＞

国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略研究推進部

E-mail : rp-info@jst.go.jp TEL : 03-3512-3530

「情報科学との協働による革新的な農産物栽培手法を実現するための技術基盤の創出」 領域運営方針・応募にあたっての注意事項（要旨）

＜領域運営の方針＞

高収量・高品質な農産物の持続的生産に資する栽培技術の基盤をつくるためには、圃場環境や栽培条件との複雑な相互作用のもとに生育する植物本来の能力を十分に引き出すための課題を解決することが必要だと考えています。本研究領域では、植物の生体機能を非破壊かつ効率的に計測する手法を開発し、植物の生育に関するデータを解析し頑健な生育モデルを構築することでこの課題解決に資する研究を推進します。そのためには情報科学的観点による情報処理・モデリング研究等、農学・植物科学的観点による植物の生理機能計測やモデルの評価研究等との連携が必要と考えています。特に本研究領域は栽培への実用展開を目指しているため、対象植物種を実用植物に限定します。

本研究領域での採択課題間の連携によるシナジー効果を上げるために、領域に参加する研究者、研究総括、領域アドバイザー等で徹底的な議論を行える場を設定し、採択後も必要と思われる協働を積極的に支援していきます。議論の結果、当初提案の研究計画に修正をお願いする場合もあることをご理解ください。

＜応募にあたっての留意事項＞

本研究領域では、農学・植物科学と情報科学が高いレベルで協働することが求められるため、通常の提案（個人研究者としての提案）に加え、提案者同士の連携提案を可能とします。提案する研究課題を応募者単独で取り組むことが難しい場合は、情報科学研究者と農学・植物科学研究者が事前に連携の可能性について打ち合わせたうえで、それぞれの役割及び期待されるシナジー効果を記載し、それぞれが本研究領域に個別に提案いただくことができますようにします。連携すべき研究者や連携研究テーマを検討中の段階で提案する研究者は、どのような研究者との連携を想定しているか、どのような連携テーマを実施したいのかについて、できるだけ具体的に記入してください。

【連携提案】

